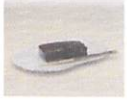


和菓子の季節感と季語

お菓子と俳句



一月 花びら餅、二月 桜餅、三月 草餅、四月 わらび餅、五月 柏餅、
六月 葛饅頭、七月 水羊羹、八月 ところてん、九月 おはぎ、十月 蒸し羊羹、
十一月 千歳飴、十二月 ぜんざい餅、 四月に椿餅も追加しましょう。

それぞれの和菓子のもつ長い時間は、その季節感と切り離すことはできません。

俳句には季語が必要ですが、前出の菓子のほとんどは季語としてみとめられています。

俳句の初期からお菓子は大切なテーマでありました。

- 講師 : 田村ひろじ氏 (和菓子研究家 俳人)
- 日時 : 平成23年10月30日 (日) 午後1時30分 より
- 会場 : 鎌倉芸術館 第一会議室 (3F)

(プログラム)

午後1時15分	会場 (受付開始)
午後1時30分	開会
午後1時40分	講演開始
午後3時40分	講演終了
午後3時45分	質疑応答 連絡事項等
午後4時30分	終了
午後5時 より	プログラム終了後 希望者は 懇談会 辛党組 3,000円程度 参加費: 甘党組 1,000円程度 カラオケ組 1,000円程度

※ プログラムは変更することがありますのでご了承ください。

- 会費 : 当日のみの参加者 500円
- 問い合わせ先 : 井森 亮 Tel&Fax ; 0467-44-6055
- 会員の募集を行っております。詳細は上記問い合わせ先までご連絡ください。

主催 (湘現会) 湘南鎌倉生涯現役の会
後援 鎌倉市教育委員会